昔ながらの臼と杵でのもちつきを手伝う青年団員の藤本直樹さん(左)



若き原動力、地域活性化へ

チャリティーもちつき会

12月23日、チャリティーもちつき会がショッピングセンターマイン駐車場で行われ、師走の買い物客たちでにぎわいました。御船町知的障がい者福祉会(髙添節子会長)が、地域交流を目的に毎年開催。今年は、御船町青年団(上田浩誠団長)が昨年再結成したことをきっかけに共催での取り組みとなりました。年末でもあり、つきたてのもちを買い求めるお客さんも多く、会場は熱気と活気に溢れていました。上田団長は「これからも地域の行事などに参加して交流を広げていきたい」と青年団活動へ意欲的に話されました。

御船ＲＥＸ快進撃で上位入賞

吉無田高原サッカー大会

ジュニアサッカー大会（８人制）が12月５日、吉無田高原で開催され、県内から27チームが参加しました。青少年の健全育成や観光推進を目的に、今大会で９回目。御船町からの参加チーム「御船ＲＥＸ」は、１年生の部が準優勝、２年生と３年生Ａの部が３位に輝きました。なお、成績は次のとおりです（１位のみ）。

・１年生の部　（８チーム）／アッズリーノ熊本ＳＣ
・２年生の部　（７チーム）／ソレッソ・２年Ｎ
・３年生Ａの部（６チーム）／ソレッソ・３年
・３年生Ｂの部（６チーム）／ＦＣ　ＢＩＧＷＡＶＥ



３年生の部の予選二試合を失点０に抑え、３位入賞の原動力となった御船ＲＥＸの守護神・村上亮選手(滝尾)

史上最多５チームが全国大会へ

アイデアロボコン九州中学生大会

12月５日と６日、第11回創造アイデアロボットコンテスト九州地区中学生大会が佐賀県鳥栖市で開催。県代表として出場した御船中学校(西村登校長、526人)が３部門で上位入賞を果たし、５チームが全国大会への切符を手にしました。大会には、九州・沖縄８県から99チームが出場。競技は、ごみを回収するお掃除ロボットでタイムを競う授業内部門、ボールを拾い集めてコート端に立てられた板にボールを並べて得点とタイムを競う応用部門、かごに玉を入れて得点を競う九州オリジナル部門の、予選リーグのトーナメント方式で行われました。その結果、授業内部門で「スイッチ」が、九州オリジナル部門で「継魂」がトーナメント戦を制し、２部門で御船中が優勝を飾りました。そのほか、応用部門で「ロボハート」と「チームトラスト」が３位入賞、授業内部門で「以心伝心」がアイデア賞を獲得して、御船中史上最多の５チームが全国大会出場を決めました。なお、全国大会は、１月23日と24日に東京都の千寿桜堤中学校で開催。２年連続４回目の全国制覇をかけて出場するチームは次のとおりです(出場部門・チーム別、順不同敬称略)。

【授業内部門】
▽スイッチ(県大会優勝、九州大会優勝)
　吉住亜里紗、藤田朗史、江本健留、寺野翔、佐藤一志

全国大会に２年連続で７回目の出場を決めた御船中23人



▽以心伝心(県大会２位、九州大会アイデア賞)
　岩上佳史、野口圭、村上大周、森友規

【応用部門】
▽ロボハート(県大会２位、九州大会３位)
　山下叡、川部竜誠、飯田素弘、鎌田純平、栗嶋孝一
▽チームトラスト(県大会優勝、九州大会３位)
　佐本真、清水龍成、富田一宇、眞中孝矢、市原大士

【九州オリジナル部門】※全国大会は「映像部門」での競技
▽継魂(県大会優勝、九州大会優勝)
　谷口竜星、灰塚慎、江原圭祐、三浦好稀

潜在する〝地域力〟で勝負

くまもと地域づくりフォーラムinみふね



地域づくりへの熱い想いを６人のパネラーが語ったパネルディスカッション

くまもと地域づくりフォーラムinみふねが12月19日、カルチャーセンターで開催され、約300人が参加しました。フネッピーすこやかスポーツクラブ(竹内昭剛会長)が主催。地域づくりをキーワードとした住民と行政の協働のあり方、地域の力を見つめなおそうと開かれました。講演では、三重県いなべ市の総合型スポーツクラブ、熊本県南関町の放課後子ども教室の活動事例が発表。さらに、「未来への提言」と題して、主催者の竹内昭剛さん、御船町商工会長の福味総一郎さん、木倉公民館長の田中恵三さんが、町内でのスポーツ面や商工面、地域活動面の熱心な取り組みを発表され、参加者は終始熱心に傾聴しました。今回のフォーラムは、７月上旬に御船町で開催される「全国総合型スポーツクラブ大会」へ大きな弾みとなったようです。

御船の大地を潤す森の役割

森の学習とみんなの森植樹祭



間伐材で作ったプランターの完成に笑顔の袴野小児童と先生

吉無田高原で12月３日、七滝中央小学校(佐藤公一郎校長、57人)と袴野小学校(今村靖男校長、４人)が合同で、木工教室と植樹を体験しました。これは、ＮＰＯ熊本環境資源ネットワーク(野口一敏理事長)が主催し、森林の環境保全を目的に行われました。初めに、同高原「緑の村」管理センターで、間伐材を使ったプランター作りを体験。続いて、場所を田代地区天ケ瀬へと移動。山林約１㌶に、ヤマモミジ、コナラ、アラカシなど６種類950本の苗木の植樹作業に汗を流しました。袴野小６年の浅井美咲さん(田代)は、「植樹は初めて。ＮＰＯの方が丁寧に教えてくれたので楽しく(苗木を)植えることができた。これから木のことをもっと知って、より深く学んでいきたい」と森の役割や自然保護の大切さへの認識を深めていました。

身近な話題や情報をおまちしています。ご連絡は役場広報担当(☎282-1111)までお気軽に。